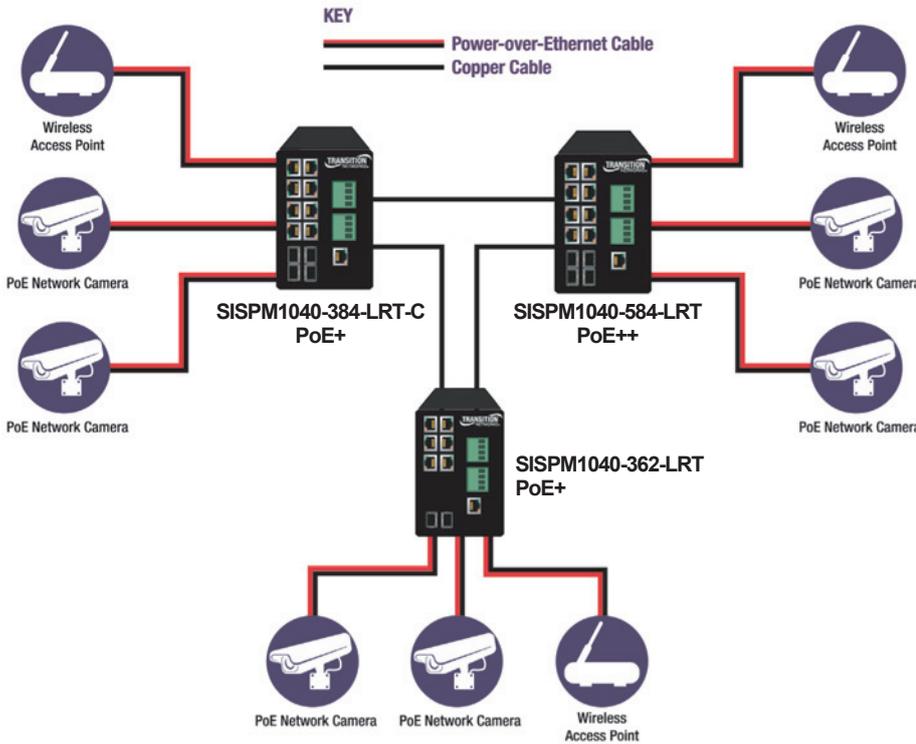


産業用マネージドPoE+/PoE++ スイッチに搭載されたデバイス管理システム(DMS)



- IP カメラに電力とデータを供給しながら、IP 監視ができます
- モニタリング / 管理は PoE 規格に対応しているベンダーの全ての機器をサポート
- 屋外対応製品もあります
- 産業用規格クラス1ディヴィジョン2適合

Features

G.8031 / G.8032

Benefits

産業用Ethernetリングおよび冗長構成に対応しています。

Class 1 Div 2 Certified

危険な場所でも耐えられるよう設計されており、信頼性の高い動作を保証します。石油・ガスおよび化学品製造ネットワーク

DI/DO
(デジタル入出力)

デジタル入力 (DI) を使用すると、センサーを自動警報システムに統合し、IP ネットワーク経由で警報を転送して配線の手間を省くことができます。デジタル出力 (DO) を使用すると、スイッチは警報をトリガーするための追加の物理的接触をサポートできます。

接続されたPDの管理を統合

組み込みDMSから接続デバイスを直接管理および制御する機能

ネットワーク診断

IP 接続や物理層のケーブル配線のチェックとテストを含む拡張診断機能を備えたスイッチを有効にしました。

ネットワーク監視

DMS が提供するトラフィックと統計のリアルタイム グラフィカル モニタリングにより、ICMP ping の「Keep-Alive」としきい値超過の自動アラームを使用して PD のヘルス チェックを簡単に実行できます。

可視化

トポロジー・ビュー、フロアマップ・ビュー、Google MAPビューを搭載

ポート毎DHCP

デバイスを交換した場合でも、同じポートに接続されたデバイスに常に同じIPアドレスが割り当てられるようにすることで、PDのインストールとメンテナンスを簡素化します。

LLDP-MED

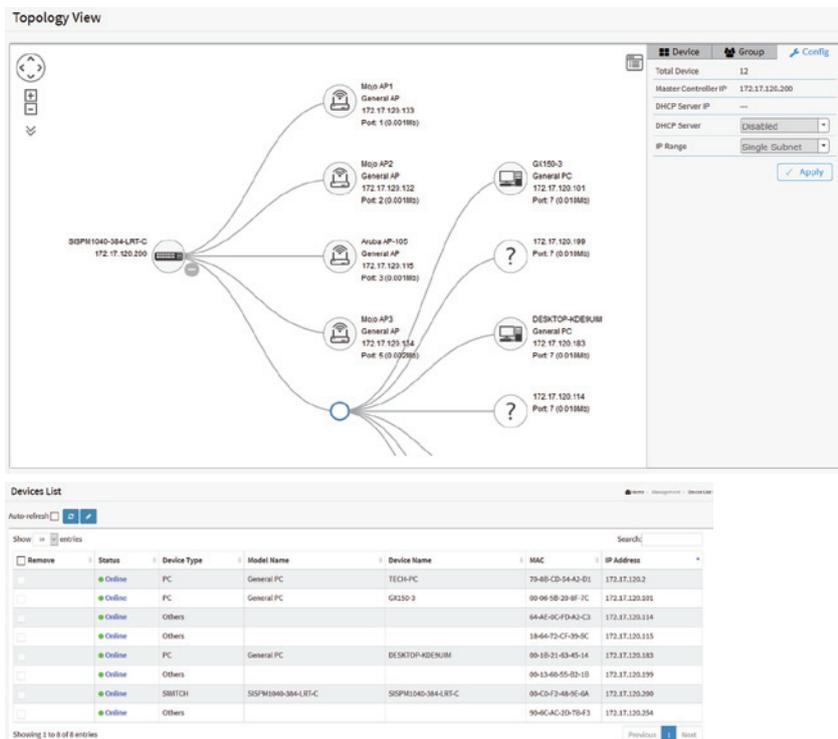
エンドポイントデバイスが、受電デバイスの電力優先度や電力値などの電力関連情報を交換できるようにします。

先進デバイス・マネジメント・システム

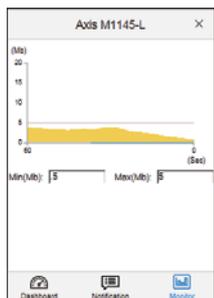
ランترونクス社では、お客様のニーズに最適な独自のソリューションを提供することに専念しています。 デバイス管理システム (DMS) ソフトウェアの最近のリリースは、その顧客のニーズを念頭に置いて設計されました。 この新機能はPoE+ スイッチに接続されたネットワークのPD (受電デバイス) の管理に革命をもたらし、機器の保守を容易にします。

- ・ 接続された IP アドレスを自動的に検出して受電装置 (PD) をリモート構成する。
- ・ ベースライン展開の確立と文書化
- ・ デバイス管理のためのグラフィカルなトポロジ・ビュー
- ・ デバイス管理のフロアビュー (JPEG 図面を背景にインポート)
- ・ デバイス管理のための Google Maps™ビュー
- ・ 自動パワーリセット (APR) は PD を監視し、フリーズしたら自動的に再起動します。
- ・ ケーブルおよび IP 接続間のトラブルシューティング
- ・ デバイス別、ポート別、月別、日別によるトラフィックの監視と分析
- ・ しきい値を使用してヘルスチェックを実行できる
- ・ エラー発生時の自動アラーム

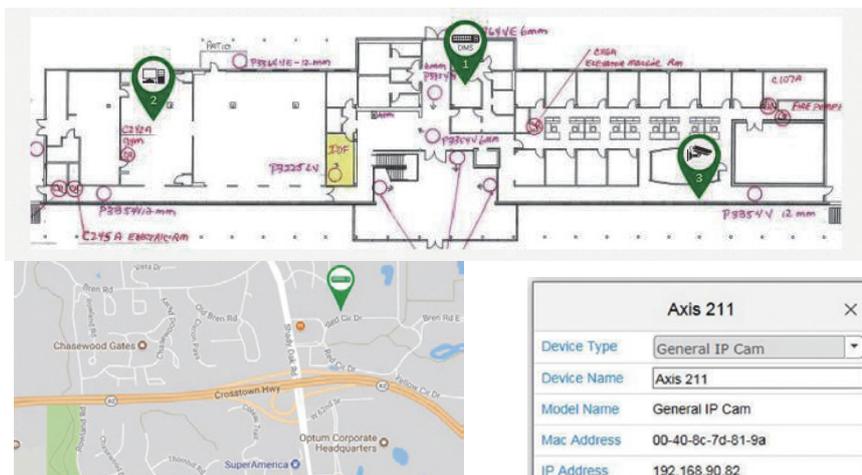
- 同一のサブネット内に接続された受電装置 (PD) を自動的に検出して、トポロジーをリモート構成することができます。



■ 日/週/ポート/デバイス別の
トラフィックの監視と分析



■ トポロジ、フロア、およびGPSマップ・ビューによるデバイス管理の簡素化



■ ケーブル&IP接続の問題の診断
によりトラブルシューティング
が容易

192.168.90.5 00-c0-f2-46-87-38
Connection.....
Cable status.....

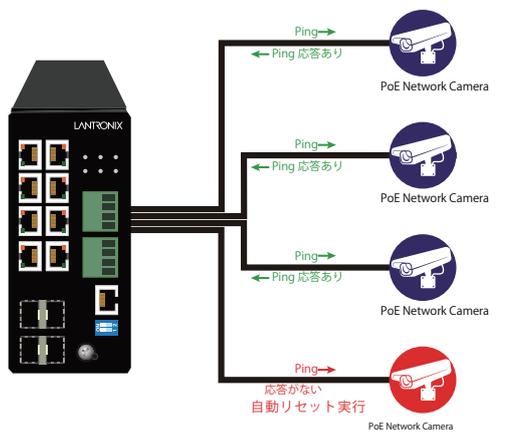
192.168.90.82 00-40-8c-7d-81-9a

■ ダッシュボードで各カメラ・デバイスや
無線APなどのレポート機能や診断機能、
エラーレベルの状態を示し、ログイン
URLを予め入力しておくことで疑似的な
一元管理が可能

■ Auto Power Reset (APR) は、

Port	Ping IP Address	Interval (Seconds)	Retry Times	Failure Log	Failure Action	Reboot Times
1	192.168.1.1	30	3	error@ 10:00:00	Reboot Remote PD	15
2	192.168.1.2	30	3	error@ 10:00:00	Reboot Remote PD	15
3	192.168.1.3	30	3	error@ 10:00:00	Reboot Remote PD	15
4	192.168.1.4	30	3	error@ 10:00:00	Reboot Remote PD	15
5	192.168.1.5	30	3	error@ 10:00:00	Reboot Remote PD	15
6	192.168.1.6	30	3	error@ 10:00:00	Reboot Remote PD	15
7	192.168.1.7	30	3	error@ 10:00:00	Reboot Remote PD	15
8	192.168.1.8	30	3	error@ 10:00:00	Reboot Remote PD	15

エッジデバイスを監視して自動的に再起動します。
但し、PDと同じセグメント上で管理する必要があります。



■ 別売ですが、Milestone XProtect VMS
シリーズを利用している場合は、VMS
とDMSを統合可能なプラグインを提供
可能です。

自動パワーリセット: APRおよび、DMS搭載製品リスト

L2マネージド産業用PoEスイッチ (-40°C~75°C、10G SFP使用時は-40°C~60°C迄)

製品名	ポート数	PoEポート数	最大電力許容値	PoE分類	PoEモード	リセット	自動パワーリセット	パワエレ	PoE
SESPM1040-541-LT-AC SESPM1040-541-LT-DC SESPM1040-541-LT-PD	(4)10/100/1000Base-T PoE++ , (1)100/1000SFP/RJ-45 コンボ+オプション拡張ポートあり、屋外筐体型 ※ (追加オプションポートにPoEポートはありません)	4	90W × 2	PoE++	A+B	○		240W	
SISPM1040-362-LRT	(4)10/100/1000Base-T PoE+ , (2)10/100/1000(RJ-45), (2)100/1000Base-X SFP	4	30W × 4	PoE+	A	○		120W	
SISPM1040-384-LRT-C	(8)10/100/1000Base-T PoE+ , (4)100/1000Base-X SFP	8	30W × 8	PoE+	A	○		240W	
SISPM1040-582-LRT	(8)10/100/1000Base-T PoE++ , (2)100/1000Base-X SFP	8	90W × 4 (60W × 8)	PoE++	A†	○		480W	
SISPM1040-3166-L	(16)10/100/1000Base-T PoE+ , (4)100/1000Base-X SFP, (4) 1G/10GBase-X SFP+	16	30W × 8	PoE+	A	○		250W	
SISPM1040-3248-L	(24)10/100/1000Base-T PoE+ , (4)100/1000Base-X SFP, (4) 1G/10GBase-X SFP+	24	30W × 12	PoE+	A	○		370W	

† ユーザ選択式

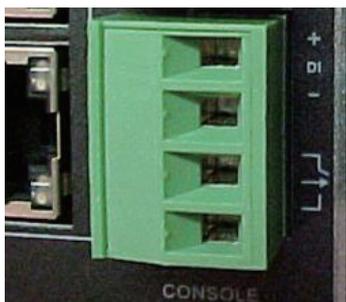
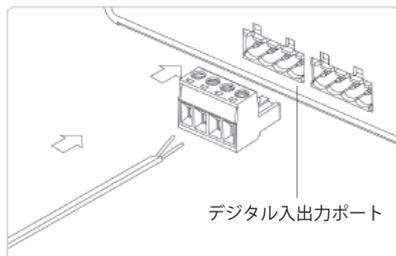
A† PoE++は4ペア結線にてPDIに供給されますが、PoE+またはPoEなどの2ペアモード使用時は給電方式AまたはオルタナティブAで電力が供給されますのでご留意下さい。

* PoE+製品は、必ずしも全ポートが同時に30W/ポートで利用できる訳ではありません。「PoEパワー・バジェット÷RJ-45ポート数」にて全ポート使用時の1ポートあたりの電力許容値が算出できます。

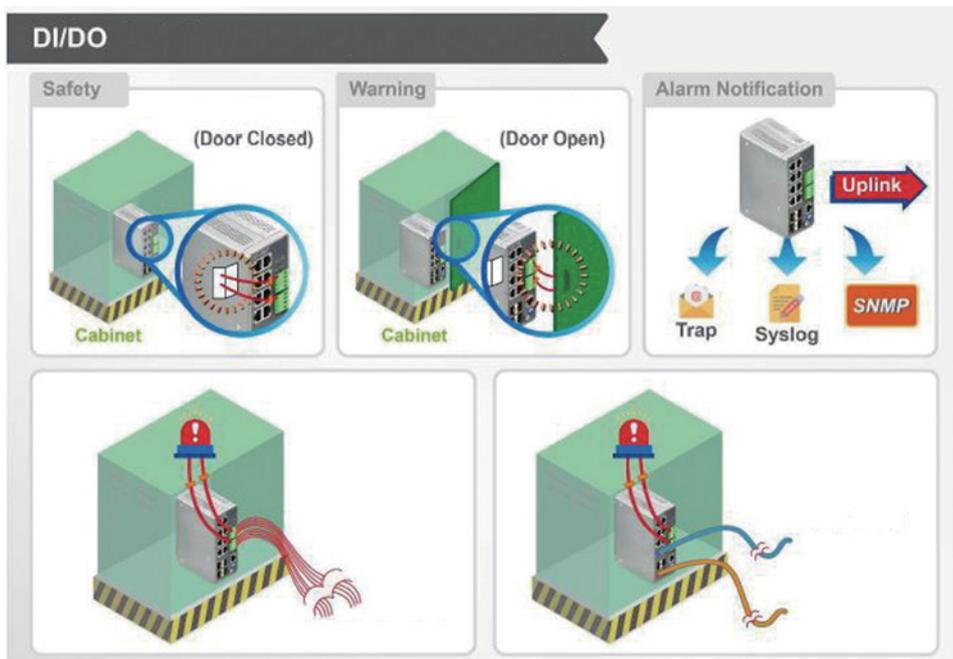
* 産業用PoE製品は、さまざまな電力容量と動作温度範囲を持つ産業用電源の中からの選定が必要です。(DC53~57V入力が必要; DC電源の用意が既にあるならば、必ずしも選定の必要はありません)

デジタル入力およびデジタル出力の利用方法

スイッチは、デジタル入力とデジタル出力をサポートしています。デジタル入力により、外部デバイスのステータス（ドア侵入検知など）を検出してログに記録できます。同時にデジタル出力を使用して警報システムでパトランプをアクティブにしたり、スイッチ上の各ポートでリンクダウン、リンクアップ、または冗長構成後に1台の電源障害を示しているかどうかを管理者に知らせることができます。



上がDI、下がDO
ドライ接点リレー



デジタル出力電圧は最大 DC24V/1A まで、外部電源が必要です。
入力レベルは、低（レベル0）の時：0～6V、高（レベル1）の時：10～24Vの範囲でそれぞれ使用できます。

電圧入力をDIの通常と同じように高くまたは低く設定することができます。DIが通常のみである場合（低く設定されていると想定）、DOは応答しません。しかし、電圧入力が高に変化すると、DIは高/異常を示し、同時にDOは自動的に「異常」に切り替わり、接続されたデバイスに信号を送信し、スイッチはシステムに記録します。

リレー接点回路はノーマル・クローズまたはノーマル・オープンに設定できます。

設定可能イベント例：

- ポートのリンクアップとリンクダウン発生時
- トラフィックノオーバーロード時（ポート別）
- トラフィックの継続時間や受信時の閾値設定に基づき
それぞれトリガーとなるイベントをデバッグモードから、優先順位最大のエマージェンシーまで選択可能。

★その他、Syslog、SNMP、DO、SMTP
に対して警告または通知可能なイベント一覧
を右の画像の通りまとめました。

詳細が必要であれば、下記Eメールまでお問合せ下さい。

support@psi.co.jp

ACL	Logout	PoE-PD-Over-Current
ACL-Log	Loop-Protect	Poe-Auto-Power-Reset
Access-Mgmt	MRP-Event *	Port-Security
Auth-Failed	Mgmt-IP-Change	Rapid-Chain-Break
Cold-Start	Module-Change	Rapid-Ring-Break
Config-Info	NAS	Rapid-Ring-Error
DI-1-Abnormal	Over-Max-PoE-Power-Limitation	SCP-Fail
DI-1-Normal	PWR-1-Off-On	SCP-Success
DMS	PWR-1-On-Off	Spanning-Tree
Digital-Out	PWR-2-Off-On	Temperature
Firmware-Upgrade	PWR-2-On-Off	Voltage
Import-Export	Password-Change	Warm-Start
LACP	PoE-PD-Off	
Login	PoE-PD-On	

* Added "MRP Event" at FW v 7.10.2520.



<https://corp.psi.co.jp>
株式会社ピーエスアイ

tokyo_sales@psi.co.jp

本社 〒160-0022 東京都新宿区新宿5-5-3 建成新宿ビル4F Tel: 03-3357-9980 / Fax: 03-5360-4488
大阪営業所 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原4-1-4 KDX新大阪ビル9F Tel: 06-6151-4034 / Fax: 06-6151-4035
福岡営業所 〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神3-4-5 ビエトロビル4F Tel: 092-731-1238
名古屋営業所 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2丁目9-27 NMF名古屋伏見ビル8F-A Tel: 052-217-8810